



# Top Message

株式会社カナエ  
代表取締役社長  
樋高成憲

株式会社カナエ  
取締役会長  
中澤孝



2021年は新型コロナウイルスの感染が続き、人々の生命はもとより世界経済にも大きな影響が出ました。企業活動はもとより、個人消費など社会全般の活動への制限により長期間にわたり経済活動は厳しい状況となりました。

当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響から、原油の値上がりによるナフサ価格の上昇、様々な資材不足と価格上昇、世界的な輸送問題などが起き、さらに中国の経済動向による影響や環境問題に対する動きが加速してきております。

その中で、当社はこれまで包装資材の販売、受託包装加工、包装機械の設計・販売を通じて、トータルサポート力でパッケージの総合企業として商品・サービスを提供し、お客様第一の経営を実践し、その精神のもと「安全・安心」をお届けできるよう努めてまいりました。また2019年に完成した「包装技術開発センター」も「カナエ・グッドアンサー・ラボ」（あなたのもうひとつのラボとして）をテーマにお得意先様、お取引先様との共同開発・オープンイノベーションの場として機能するセンターを目指し取組んでいます。

2019年より推進していますSDGs (Sustainable Development Goals) は、当社の2030年ビジョンとして「新しいパッケージで市場創造し、持続可能な社会に貢献する」とともに、コア事業だけでなく企業としての様々な活動について取組みを行っております。当社はパッケージを中心とした事業を行っており、プラスチック問題を始め、当社を取り巻く環境への対応は決して簡単なものではなく、さらに厳しくなっておりますが、企業としての責務と捉え取組んでまいります。

また社内体制におきましても、業務の基本の徹底、また内部統制と業務改革のためにIT化の推進も含め、2020年に「新しい仕事様式(kanae jobs style)」を策定し目指すこととしました。社内制度やルールを徹底し、業務の基本を身に付け、ガバナンスを強化していくことで、お客様や社会に信頼される企業になると考えます。

当社としましては、これらのことを踏まえ、2022年も引き続きビジョン達成に向け真摯に取組んでまいります。お得意先様、お取引先様、株主の皆様、関係者各位全てのステークホルダーの皆様に、心より感謝申し上げますとともに、今後ともご支援、ご指導を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## 1. 栃木工場第3工場棟竣工

2021年、新たに栃木工場に第3工場棟を建設いたしました。設計コンセプトといたしましては、①量産を可能にする工場、②お客様から選ばれる工場、③ワクワク、体感・体験できる工場、④気持ちよく仕事ができる工場、⑤将来を見据えた対応、となっており、今後の医薬品受託包装の更なる拡大に備え、錠剤や液剤などの経口剤を中心に、高い生産性を提供する医薬品工場を目指して建設いたしました。第3工場棟はラインスケールが大きく大型受託包装

が可能となっており、また特殊な製剤の包装も可能であり、さらにはお客様の見学を視野に入れ、ショールームや着替えることなく見学できる通路も設けるなど、将来を見据えた工場となっております。

当社としましては、これを機会にこれまで以上にお得意先様からの様々なご要望にお応えできるよう努めてまいります。

## 2. サステナビリティパッケージの推進

ビジョンを推し進めるため、これまでの「新たなパッケージで市場を創造する」という新しいパッケージの開発はもとより、「安全・安心」の提供や「使用者・利用者の利便性」を追求するというこれまでの事業の考え方については継承したうえで、2019年度よりサステナビリティ(持続可能性)の考え方を取入れ取組んでおります。

その中でも特に「環境への取組み」については、当社の理念手帳「鼎心(ていしん)」の中に「うちはゴミ屋」(パッケージは使い終わればゴミになるという自戒を込めた言葉)、「美しい地球を次世代に引き継ぐため」という言葉があります。さらには当社が長年取組んでおります

ISO14001の考え方、仕組みを踏まえ今後もより一層取組んでまいります。

また「環境への取組み」だけでなく、当社のパッケージにおける技術力とIoTといった新しい技術を融合させることで「人々の健康や福祉への貢献」や、当社の「新しいパッケージ」をお客様で採用いただくことで、サプライチェーン全体でSDGsへ貢献することも可能であると考えています。そのため「サステナビリティ推進室」を設け、全社が連携してサステナビリティ事業を推進できるように取組んでおります。

## 3. 企業理念浸透と組織力を発揮し強い集団作り(ダイバーシティへの取組み)

人材は企業として最も大切な資産です。その大切な人材を最大限に生かすために企業理念を浸透させることが企業の力になると考えます。「理念」教育、つまり、当社理念手帳である「鼎心」浸透を踏まえて教育を実施していく必要があります。そのため継続した取組みを行ってまいります。さらにこれからの組織はこれまで以上に多様性が必要と考え、2019年度よりダイバーシティに取組むこととし、そのスタートとしてまずは女性活躍の観点で力を入れております。2019年末、女性をリーダーとして「カナリア

プロジェクト」を立ち上げました。2021年度はコロナ禍で対面での取組みが難しい中でしたが他社でビジネスパーソンとして女性活躍の場を切り拓いてこられた方々のお話をお聴きしたり、テーマを決めてプロジェクトで新しい包装形態を考えたりと、外部からの刺激と自らの取組みを行うことで、メンバーが互いに刺激しあいプロジェクト起点で組織が活性化し、最終的には会社全体が強い集団となることを目指しております。

## 企業理念

- 社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする
- 顧客第一主義に徹する
- 健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する
- 情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する
- 地球環境にやさしい企業活動を行う
- 企業の社会的責任を果たしていく

## 社訓

- ニュー・ニューフロンティア精神を持つ
- 見るよりも見られることに徹しよう
- 実るほど頭をたれる稲穂かな
- 独創性を追求しよう

## CSR方針

「包」で安全安心を創造し、持続可能な社会に貢献する

## CSR指針

### 社員と職場を包む

「学び」「チャレンジ」する風土を醸成し、誰もが働き続けたいと思う「安全・安心」な職場づくりを推進します。

[ 関連するSDGs ]



### お客様と消費者を包む

お客様、消費者の視点を第一に、高品質な製品を安定的に供給し続けます。

[ 関連するSDGs ]



### ビジネスを包む

高い倫理観を持ち、お取引先様と共に世の中に必要とされ続ける企業づくりを進めます。

[ 関連するSDGs ]



### 地球を包む

人や地球環境にやさしい企業活動を行い、「包」を提供する企業として、外部との協業により持続可能な社会に貢献できる製品、サービスを創造します。

[ 関連するSDGs ]



## 会社概要

社 名：株式会社カナエ  
本 社 所 在 地：大阪府中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー23階  
設 立：1956年3月29日  
資 本 金：3億5,381万4,600円  
代 表 者：代表取締役社長 樋高 成憲  
売 上 高：24,121百万円(2021年10月期)  
従 業 員 数：479名(2021年10月20日時点)  
事 業 所：本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所、  
西神ロジスティクスセンター、栃木工場、  
神戸工場、愛媛第一工場、包装技術開発センター  
グ ル ー プ 会 社：カナエエンジニアリング株式会社  
株式会社カナエテクノス  
株式会社カナエシーエスパック

## 事業領域

包装材料の販売：素材メーカー500社以上とのネットワークで最適な  
包装材料を提案  
包装機械の販売：使う立場に立った包装システムを提案  
包 装 加 工：多種多様な包装を、試作から受託製造まで対応

## 業態許可

### 第二種医薬品製造販売業

- 本社  
管理医療機器等販売業
- 栃木工場  
医薬品製造業(一般)  
向精神薬製造製剤業者免許  
向精神薬試験研究施設設置者登録  
医薬部外品製造業(一般)  
化粧品製造業(一般)

- 神戸工場  
医薬品製造業(一般)  
向精神薬製造製剤業者免許  
向精神薬試験研究施設設置者登録  
医薬部外品製造業(一般)  
化粧品製造業(一般)
- 愛媛第一工場  
管理医療機器等販売業  
医薬品製造業(一般、包装・表示・保管)  
医療機器製造業(登録製造所)  
医薬部外品製造業(一般)  
化粧品製造業(一般)



認証取得  
すべての事業所で  
ISO14001の認証を  
取得しています。



えるぼし  
2021年1月29日に  
取得しました。  
▷P.12「えるぼし」(女性活躍推進企業  
認定制度)取得をご参照ください。



大阪府障がい者  
サポートカンパニー  
2018年度より  
登録されています。



EcoVadis社「シルバー」取得  
EcoVadis社の  
サステナビリティ調査において、  
「シルバー」評価を取得しています。

※EcoVadis社「シルバー」評価について  
評価の基準は毎年見直されおり、「シルバー」評価は最高位の「プ  
ラチナ(上位1%)」、次点の「ゴールド(上位5%)」に次ぐ評価で、  
上位25%以内に位置することを意味しています。

## Contents

⋮  
⋮  
⋮

1 - 2 - Top Message

3 - 4 - 企業理念・社訓/  
CSR方針・CSR指針/  
会社概要

5 - 6 - 【特集1】  
栃木工場第3工場棟が  
竣工しました

7 - 8 - 【特集2】  
2030年ビジョン実現  
に向けて

9 - 10 - 【特集3】  
ダイバーシティへの取組み

### ▼ 当社の取組み2021

11-12- 社員と職場を包む

13-14- お客様と消費者を包む

15-16- ビジネスを包む

17-18- 地球を包む

# 栃木工場第3工場棟が竣工しました

2021年9月、栃木工場に新たに第3工場棟が竣工し、神戸工場、愛媛第一工場を含む当社の生産体制が強化されました。第3工場棟は今後の医薬品包装受託事業の更なる拡大に備え、24時間生産体制、量産型の医薬品工場として、錠剤や液剤などの経口剤を中心に生産します。これからもそれぞれの工場の特徴を生かし、確かな品質とお得意先様の期待に沿ったモノづくりができるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。



栃木工場全景



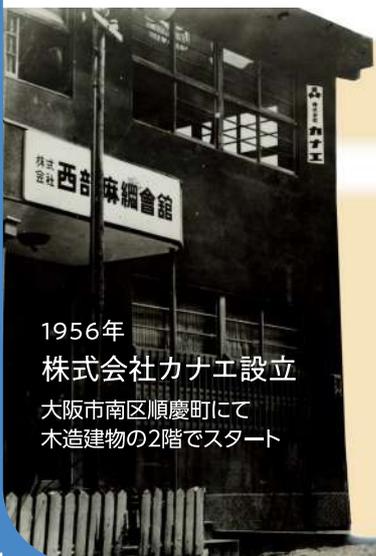
取締役 生産本部長  
蒔田 光司

## 🍓 第3工場棟竣工にあたって

このたび栃木工場第3工場棟が、今後の医薬品包装受託事業の更なる拡大に備えた量産型工場として竣工しました。医療ニーズや患者様の使用性を考慮した包装形態であります、台紙包装や当社オリジナルパッケージのコスモパックの高速充填包装設備を設置し、高い生産性を提供できる体制を整えました。昨今、医薬品開発の多様化が進み、薬理活性の高い医薬品の需要が高まっている対応として、今まで当社では受託できなかった高薬理

活性剤の製造エリアとして未実装エリアを確保し、新たな医薬品包装受託事業の柱として生産体制の確立を目指します。また第3工場棟は省エネや地球環境保護の視点より、省エネ設備を導入し、お得意先様はもとより社会からも選ばれる工場として地球環境に優しいものづくりを行います。

今後も、安定した品質と高い生産性を維持し、医薬品受託工場として、お得意先様の期待と信頼に添えてまいります。



1956年  
株式会社カナエ設立  
大阪市南区順慶町にて  
木造建物の2階でスタート



～PLANT HISTORY～

### 受託包装加工の礎を築いた旧工場

#### 1958年 旭工場新設

初の自社工場を新設  
スリットや製袋加工に対応



#### 1963年 大宮工場新設

医薬品包装のきめ細かな  
需要に対応するため、  
生産加工能力を増強



#### 1987年 高倉工場新設

活性化する新製品の開発や  
生産性向上を目指し、新設備  
を備えた工場を新設



#### 1994年 大宮工場改築

業事法改正にともなう、  
医薬品受託加工と品質向上に対応  
するため、医薬品工場として増改築





台紙包装ライン



見学廊下

## 🍓 第3工場棟の特色

### 生産性

医薬品受託工場として生産性を最大限発揮できる設計です。

幅広いニーズに応える設備を備え、フレキシブルな生産対応と高い生産性でお得意先様にご満足いただける工場を目指します。

### お得意先様に選ばれる工場

グローバルGMP対応工場。

人とモノの動線を工夫し、物流の効率化を図り、交差汚染や異物混入を防止します。魅せる工場として、製造工程の見学廊下も設置しています。

### 将来を見据えた対応

将来的な取扱いを見据え、高薬理固形製剤の未実装エリアやAGV(無人搬送車)による搬送スペースを確保。状況に応じて製造エリアや倉庫の増築も容易にできるフロア設計にしています。

## 🍓 環境にも配慮し災害にも強い工場

24時間生産体制の次世代工場として、省エネや大規模災害などへの配慮も行っています。省エネや地球環境保護の視点から、製造エリアの空調は2次空調方式を採用し、作業をしていない期間は2次空調機を停止することで省エネを図っています。

地震への備えとして、自動倉庫には減振ダンパーや落下防止ストッパーを設けています。また、停電による影響を最小化するために、非常用発電機を設置し、自動ラック倉庫や品質管理エリアの冷蔵庫などをバックアップしています。



自動ラック倉庫

## 🍓 栃木工場のご紹介

栃木工場は、2000年にGMPに対応した医薬品、治験薬の受託専門工場として、いちごの産地として有名な栃木県真岡市に新設しました。2019年に化粧品・医薬部外品の業態許可を取得し、業容を拡大しています。これまでも工場で造られる高品質な製品は、お得意先様から高い評価をいただいています。また、栃木

県の「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」に登録し、「仕事と家庭の両立」及び「女性の活躍」が可能な雇用環境の実現に向けた取組みを進めています。これからもお得意先様のニーズに応え、地域に密着した工場として、地域と共にさらなる発展を目指してまいります。



執行役員 栃木工場長  
渡部 博

### 現在の受託包装加工を支える3工場体制

#### 2000年 栃木工場新設

高度な製造管理、品質管理に対応できる本格的なGMP工場を目指し、栃木県真岡市に新設



#### 2008年 (包装技術開発センター併設) 神戸工場新設

医療産業都市構想を展開する神戸ポートアイランドに研究開発型の工場を新設



#### 2014年 愛媛第一工場新設

滅菌設備など医療機器の受託加工に対応する機能を備えたメディカル加工工場を新設



### 2021年 栃木工場第3工場棟新設

医薬品受託加工の需要拡大に応えるため、環境にも配慮した医薬品専用工場棟を新設



# 2030年ビジョン実現に向けて

2030年ビジョン「新しいパッケージで市場創造し、持続可能な社会に貢献する」の実現、さらには2030年を期限としたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向けた、当社の新しいオリジナル商品の開発への取組みならびに国内外で収集した関連情報の発信についてご紹介します。

当社が携わる包装業界では、石油由来のプラスチック材料を多く使用しており、環境汚染としてプラスチックごみ問題や地球温暖化問題が注目される中、今までは積極的でなく情報収集程度の活動しかしていなかった企業も積極的にサステナビリティ商材採用検討への取組みをスタートされ、サステナビリティ商材の需要がますます高くなっています。当社は、包装材料メーカーや素材メーカーなどと協業して、商品開発を行うとともに、当社オリジナル商品で環境負荷を低減させる取組みを行っています。当社が開発を進めているサステナビリティ商材の一例についてご紹介します。(開発中の商材も含んでいます)

## 紙素材を使用したラミネートフィルムの開発品例



▲ 紙基材スタンディングパウチ



▲ 紙コスモバック



▲ 紙めくりフタ材ポーション

## バイオマス素材を使用したフィルム・シートの開発品例



▲ バイオマス素材PTP



▲ バイオマスコスモバック



▲ モノマテリアルPTP

## リサイクル素材を使用したラミネートフィルム・シートの開発品例



▲ リサイクルPETパウチピロー



▲ リサイクルA-PETシリンジロー



▲ Ecobliss Pure Color

## 生産時エネルギーの消費が少ない

## 部材の使用点数の削減／コンパクト化の開発品例



▲ JOY CLEAR



▲ 2剤充填コスモバック



▲ コンパクトSP

## 資源循環に向けた取組みを進めています

持続可能な社会の実現に向けて包装における資源循環（サーキュラーエコノミー）への取組みが世界的に進んでいます。資源循環しやすくするためのモノマテリアル化については海外での

取組みが先行しており、当社としてもグローバル基準で開発を進めています。

### 開発商品：ポリオレフィン系モノマテリアルパッケージ「モノマテリアルポーション」

本開発品は Institute cyclos-HTP※ によって100%のリサイクル適性が認められました。この認証はサーキュラーエコノミーのための設計ガイドラインに則り、ポリオレフィンベースの軟包装のリサイクル性について、軟包装構造の各要素を評価して、PE またはPPのメカニカルリサイクルプロセスとの適合性を判断し認証しています。

※ ドイツ アーヘンに本社を置く包装および商品のリサイクル可能性の分類、評価、認証、およびこの分野の研究開発を専門とする会社



## 国内外の関連情報の収集・発信

サステナビリティ商材の開発だけでなく、国内、海外の情報入手を積極的に行っています。2021年度はコロナ禍のため、海外展示会に訪問して見学をすることができませんでしたが、バーチャル展示

会やWeb情報を入力し、継続的に情報収集を実施しています。入手した情報は「海外情報だより」等を通して社外に発信しています。以下に、これまで収集した情報の一例をご紹介します。



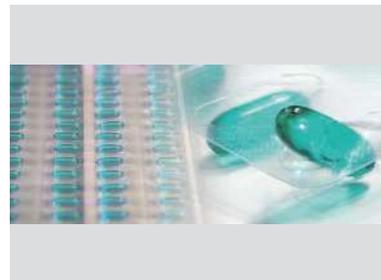
### ① Amcor社 PVCを使わない医薬品 PTP包材AmSky™

新規開発されたPE製包材はPVC製と比べると同等の性能を持ちつつ、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減することができます。



### ② Huhtamaki社 紙製医薬品PTP包材 Push Tab® paper

業界初の医薬品PTPシート用の紙製包材です。既存のAL/PVCの代替を目指しています。



### ③ Klockner Pentaplast社 PET製医薬品PTP包材 kpNext™R1

医薬品PTP用に使える硬質PETフィルム。医薬品PTPにPVC製包材を使わないリサイクル可能な代替フィルムとしての活用が期待されています。



▲ PETボトルのリサイクル素材を使用したA-PETシート



## サステナビリティ商材開発で 各種認証の取得を進めています

当社開発品「PETボトルのリサイクル素材を使用したA-PETシート及び成形品とシール蓋材」でPETボトルリサイクル推進協議会のPETボトルリサイクル推奨マーク認定を取得しました\*。今後も商材開発においては、各業界団体の目的に賛同し、各団体の認証を取得し、包装材料の資源循環に貢献します。

\* <https://www.petbottle-rec.gr.jp/product/catalog/rowK/Ka4.html>

# ダイバーシティへの取組み カナリアプロジェクト第2弾

「リアルな現状と向き合いながら、当社で夢をかなえキャリアアップできるよう、会社にとっても参加者にとってもプラスになるプロジェクトにしたい!」という想いを込めて2020年度に発足した「カナリアプロジェクト」は、装いも新たに2021年度は第2弾として展開しました。

多様性についてより一層学びを深めるために、2020年度は女性のみを対象としましたが、2021年度は性別を問わず、課長職を含む21名が参加しました。

## 【第1部】ダイバーシティの理解とモチベーションアップにつなげる

ダイバーシティの理解が深まる研修やグループワークを行い、体感的に理解を深めていきました。オブザーバーとして中澤社長(当時)と社外取締役も参加し、時にはメンバーと共にグループワークにも参加しました。



テーマ	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティインクルージョンとは*</li> <li>チャンスの見つけ方</li> </ul> 講師: 株式会社ビジネススタイリスト 代表取締役 大西美佳様(当社社外取締役)
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>NASAゲーム*</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレンクスファインダー</li> </ul> ~5つの理解を深めて自分らしく活き活き!~ 講師: Clarityan 代表 宇野聡美様
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解を深め、仕事にやりがいを見出す方法</li> </ul> 講師: 朝日生命保険相互会社人事部 国家資格キャリアコンサルタント 古賀麻耶様
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティ推進&amp;ワークライフマネジメントについて</li> </ul> 講師: リコージャパン株式会社 人財本部 人事部ダイバーシティ推進/キャリア支援グループ 松木稚佳子様

\* 社内講師による研修



▲ 社外講師講演の様子(第1回)



▲ コロナ禍のため事業所間をリモートでつなぎ、意見交換しました



▲ メンバー間の交流を深めるアイスブレイクの様子

## 【第2部】新しいパッケージの考案による社会への貢献

当社の本業である新しいパッケージの開発について、アイデアの出し方から学び、プロジェクト内の小集団活動として、メンバーの様々な視点や経験を活かした新しいパッケージ案を検討しました。



▲ アイデア検討のためのブレインストーミングの様子

新しいパッケージのテーマ	
Aチーム	粘度物用の使いやすいパッケージ
Bチーム	簡単に泡立つパッケージ
Cチーム	中身を触らずに中身を使用できるパッケージ
Dチーム	衛生性を保つためのパッケージ



▲ アイデア発表会の様子



社外講師  
朝日生命保険相互会社人事部 国家資格キャリアコンサルタント  
古賀麻耶様

今回カナリアプロジェクトでお話しさせていただくことは私にとっては大きな挑戦でしたが、機会をいただけたことに心から感謝しております。誰よりも私自身が成長させていただけたと思っています。自分のことを話すことも、社外で講演をさせていただくということも初体験で緊張と不安でいっぱいでしたが、聴いてくださる皆さまと一緒に経験を辿ってくださっているような真剣な表情から、キャリアビジョンを描くには自分と向き合うことが不可欠であること、すべての出来事にも出会いにも意味があり、その意味付けは自分次第で変わることをちゃんとお伝えしよう、とお話をさせていただきました。参加いただいた皆さまお一人お一人が、自分を愛して、自分らしく輝いて人生を歩んでいかれることを心から応援しています！



プロジェクトメンバー  
内勤営業部東京内勤営業課  
木津真由子

講演受講は、普段深く考える事のない自身の強みや弱み、価値感を見つめ直す良い機会となりました。また、新パッケージ考案のグループワークでは、他拠点の方々と交流を行えたため社内の人脈を広げる事ができました。このプロジェクトを通して発見した自身の強み、学びを活かし、日々の業務に携わっていきたいと思います。



プロジェクトメンバー  
マーケティング部営業企画課長  
坂上太一

今回は男性も参加できるということで応募しました。楽しみにしていた社外の方々の講演では企業としての取組みだけでなく、ご登壇いただいた方の人生観にも触れる内容に強い刺激を受けました。パッケージ考案のグループワークでも、私ひとりでは出せない様々な考え方やアイデアに触れることで、目から鱗が何枚も落ちっぱなしでした。



カナリアプロジェクトリーダー  
執行役員ダイバーシティ推進担当兼内勤営業部長  
井上礼子

コロナ禍の中、プロジェクト自体開催して良いものかと悩みましたが、事務局メンバーと共に内容や実施方法を試行錯誤しながら考え、取組みました。テーマはダイバーシティの理解ですが、私の想いとしては、参加者全員が受講して良かったと感じてもらう場を提供することでした。コミュニケーションが希薄になっていた時期だからこそ、この学びの場は貴重な時間になったのではと感じています。開催を承諾していただいた会社に感謝しています。

## 事務局の取組み



▲ プロジェクトメンバー募集用の動画作成  
(ナレーション吹込み)



▲ 参加者や社外講師の方への記念品としてオリジナル  
エコバックを作成



▲ 第2弾のプロジェクトマスコット  
「カナエプラスちゃん」

# 社員と職場を包む

「学び」「チャレンジ」する風土を醸成し、誰もが働き続けたいと思う「安全・安心」な職場づくりを推進します。



## 【実績表】

2022年度		2021年度	
目標	目標	実績	評価
「社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする」の実践ができています	働き方の多様性の仕組みを確立する	フレックス勤務を制度化し、一部の部署に導入した	○
	「女性活躍推進法」の行動計画（係長級25%以上）達成状態を維持している	2021年10月20日時点の係長級女性社員は27.5%で、目標の25%以上を維持している	○
	「女性活躍推進法」の新しい行動計画が策定されている	2021年4月1日から2024年3月31日の期間を対象とした新しい行動計画を策定した 目標1: 管理職に占める女性割合を3年以内に15%以上とする 目標2: 女性労働者の継続雇用割合について、男性労働者の継続雇用割合の70%以上とする	○
業務災害ゼロの取組みができています	業務災害ゼロの取組みができています <本社、支店、営業所、西神ロジスティクスセンター> リスクアセスメントの導入が完了している	<本社、支店、営業所、西神ロジスティクスセンター> 労働安全衛生リスクアセスメント手順書を策定し、各事業所への周知を完了した	○
	<神戸工場、包装技術開発センター、愛媛第一工場> ・リスクアセスメントを実施し、改善課題の抽出ができています ・業務災害が発生した場合の再発防止策実施までを手順化し、周知ができています	<神戸工場、包装技術開発センター> 業務災害が発生した場合の再発防止策実施までの手順化について、実施できなかった	×
	<栃木工場> ・リスクアセスメントを確実に実施し、66期労働安全衛生活動が計画通り進捗している（既存棟） ・完成検査にて確認された不安全箇所の撲滅と、早期リスクアセスメントを着手している（第3工場棟） ・業務災害が発生した場合は、再発防止策について事業所内の横展開（教育含む）ができています	<愛媛第一工場> リスクアセスメント実施による課題抽出、業務災害が発生した場合の再発防止策実施までの手順化について、ともに実施した	○
	<外製関係> 外製先の作業環境について、当社責任範囲の改善が完了している	<外製関係> 計画した改善工事及び安全対策を完了した	○
		<栃木工場> ・66期労働安全衛生活動は計画通り実施。新規設備導入は、稼働前のリスクアセスメントも漏れなく実施した ・他事業所での労働災害発生時は、工場全体への情報共有と類似災害防止のため、KYTシートを作成し全課でKYTを実施した	○
社用車、通勤車両（自転車含む）の交通事故ゼロの取組みができています	社用車、通勤車両（自転車含む）の交通事故ゼロの取組みができています	動画勉強会を半期に1度予定していたが、上期しか実施できなかった	×
社内全体の健康志向が高まっている	健康志向向上のための取組み参加者数を従業員の50%以上にする	疾病リスクAI予測システムを導入したが、運用は今後となる	×

## ▶フレックス勤務の一部導入について

当社の海外事業部は、欧米との取引を頻繁に行うことから、他の部門と同一の勤務体系で就労していると、終業後に待機時間を経て、夜間の顧客対応を行うという事態が発生していました。その課題を解決す

るために、当社としては初めてフレックス勤務制度を導入し、業務内容に適した勤務体制を整えました。

## ▶フリーアドレスの導入検討について

当社の新しい仕事様式（Kanae Jobs Style）の考えに基づき、本社においてオフィスのフリーアドレスを検討するプロジェクトを開始しました。従業員同士のコミュニケーションを高めるためのレイアウトの検

討や、フリーアドレス化に必要なスペースを確保するための5Sを実施しています。プロジェクトメンバーは各部門の若手を中心とし、自由に意見を出し合っています。

## ▶「えるぼし」(女性活躍推進企業認定制度)取得

当社は2021年1月29日に、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」の最高位である3つ星を取得しました。えるぼし認定とは、女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況などが優良な企業を認定する制度です。女性が能力を発揮しやすい職場環境であるかという観点から、5つの評価項目(①採用 ②就業継続 ③労働時間等の働き方 ④管理職比率 ⑤多様なキャリアコース)のうち、基準を満たした項目数に応じて3段階で評価されます。

今回、全ての評価項目の基準を満たしていることから、最高位の3つ星を取得しました。

多様な人財が活躍できる環境づくりに向け、今後ますますダイバーシティを推進してまいります。



## ▶管理職研修実施について

コロナ禍における在宅勤務の推進、時差出勤などの対応は、従来の働き方に対する考え方を大きく変え、効率化等良い側面をもたらしました。反面、コミュニケーション不足による弊害も少なからず起こりました。そのため、管理職を対象に、2020年12月に「職場のコミュニケーション活性化コーチング研修」、2021年5月に「モチベーション・マネジメント研修」を実施しました。



▲「職場のコミュニケーション活性化コーチング研修」の様子

## ▶社用車、通勤車両の交通事故ゼロの取組み

社用車を利用する従業員、また通勤時に自動車を利用する従業員を対象に、損害保険会社協力のもと、「運転時のセルフコントロール診断」を実施しました。個人別の結果は即時フィードバックし、全体の結果も受講者に対して共有しました。

また、本社では10名が2021年度セーフティドライブ(無事故無違反)コンテストに参加し、金賞を受賞しました。



## ▶業務災害ゼロの取組み(労働安全衛生マネジメントシステムの全社展開)

当社ではこれまで労働安全衛生方針に基づき、事業所を中心に業務災害ゼロの取組みを目指した継続的改善を行ってきましたが、会社として体系的に取組むことで効果をより大きくするために労働安全衛生方針を見直し、2022年度から労働安全衛生マネジメントシステム(OHSMS)として全社的に運用することを決定しました。新たに運用

を始める労働安全衛生マネジメントシステムは、環境マネジメントシステム(EMS)との連携も目指した形としています。今後は、労働安全衛生マネジメントシステムの全社定着を目指すとともに、環境マネジメントシステムとの連携を強め、マネジメントシステムの運用効率化を目指してまいります。

### 活動事項

1. 事故のない職場づくり

- ・リスクアセスメントで抽出した危険源の削減
- ・社用車、通勤車両による交通事故ゼロ

2. 健康経営への取組み

- ・業務効率化による全社の総残業時間の10%削減
- ・健康診断再検査対象者への受診勧奨

3. 労働安全衛生マネジメントシステムの確実性の浸透

- ・労働安全衛生マネジメントシステムの運用課題の解決

4. 労働安全衛生の知識向上

- ・各事業所にて教育機会を年1回以上設ける

# お客様と消費者を包む

お客様、消費者の視点を第一に、高品質な製品を安定的に供給し続けます。



## 【実績表】

2022年度		2021年度	
目標	目標	実績	評価
高品質な製品が安定的に供給できている	市場クレームゼロを目指した取組みができている	<商事関係> 削減目標を達成	○
	<商事関係> 品質異常件数削減目標の達成	<工場関係> 品質目標の一部項目が未達成	×
	<工場関係> 品質目標100%達成	<外製関係> 削減目標を達成	○
緊急時に機能するBCP体制を構築する	BCMSの2021年度目標100%達成	達成は一部の目標に留まる	×

## 品質方針

- 【1】 お客様の視点で考え、当社の技術を結集してお客様の期待を超える品質をお届けする
- 【2】 お客様に提供する商品の安全・安心を保証する
- 【3】 常に商品価値向上に向けた提案を行い、お客様とともに高品質商品を創出する
- 【4】 品質・技術に裏付けられた迅速な対応によりお客様に感動を感じていただく
- 【5】 品質システムの有効性を維持するため、継続的な改善を行う

## ▶品質への取組み

当社が取扱う包装資材、当社工場生産品、外部製造委託品のすべてにおいて、その品質を保証し、お客様に「安心して使用していただける安全な商品」を安定的に供給することを基本方針としており、「品質マニュアル」に沿った活動を行うことで、常に品質改善が図られる仕組み作りを行っています。

当社の品質保証は、当社工場生産品だけでなく、外部製造委託品や包装資材等の販売品においても、その品質を担保できる体制を構築しています。当社の各工場には、品質管理部門と品質保証

部門を設け、外部製造委託品や包装資材販売品においては、本社品質保証部門が製品品質の確保に取り組んでいます。予防的な活動として、本社品質保証部門による当社工場への定期的な内部監査を行っています。

また積極的にお取引先様への監査、改善提案を逐次実施し、品質異常の低減に努めています。

新型コロナウイルス対応のため訪問による監査が実施できない場合は、書面監査に切り替えて品質確保に取り組みました。

## ▶『なぜ!?何故!?活動』

栃木工場、神戸工場では、改善活動として『なぜ!?何故!?活動』に取り組んでいます。

この活動は、その名の通り問題の原因を「なぜ!?何故!?'と深掘りすることで真の原因を探り、より有効な改善を図るもので、製品品質の向上や不良品の削減、さらにはお客様や消費者、使用者の安全・安心にも寄与しています。

半期に一度発表会を実施し、予選を勝ち抜いたチームが活動内容や成果を報告し、「社長賞」「生産本部長賞」「工場長賞」を競い

合います。

2021年度もコロナ禍での開催のため、3密対策として審査員はリモートで参加する形となりました。しかし、表彰式は「バーチャル表彰式」という形(直接賞状を授与しているように見えるような形)で実施するなど、カメラ機能を上手く活用することで今までとほぼ同じような形で開催することができています。

また、発表会の内容は他工場にも共有し、取組みの水平展開や次の取組みの活性化を図っています。



▲神戸工場「なぜ!?何故!?活動」発表会「バーチャル表彰式」の様子(包装技術開発センター 研修室にて)



▲栃木工場「なぜ!?何故!?活動」発表会発表の様子(栃木工場にて)



執行役員 神戸工場長  
林原 一夫

### 神戸工場の取組みについて

栃木工場、神戸工場にて取り組んでいる「なぜ!?何故!?活動」は、日々の業務における問題点を抽出し、原因を追究し改善することで、結果として品質・生産性向上、業務の効率化につながっています。

神戸工場では、紙をベースとした環境にやさしいフィルムへの充填包装に向け、発生しうる問題点を抽出し、改善とテストを繰り返し行うことで、実生産に向けての基盤を確立しました。また、遊休設備の再活用への取組みでは、設備の仕様やレイアウトの変更、人・物の動線などを検討し、シミュレーションと改善により省人化・生産性の大幅向上につながりました。

今後もこの活動を継続し、進化し続ける工場であるよう取り組んでまいります。

## ▶BCPの取組み

当社の最も重要な役割は製品を安定供給することです。2011年より災害等の緊急時の対応としてBCP(事業継続計画)に取り組んでおり、2015年からはBCMS(事業継続マネジメントシステム)として展開しています。2021年度は、お取引先様向け安否確認システムの範囲を拡大し、ご協力いただくお取引先様の登録社数を増やすとともに、外製先様も対象としてご協力いただくこ

とができました。地震発生時の対応としては、西神ロジスティクスセンターのBCPを検討しました。また、当社として迅速な対応が取れるよう、被災地域に所在するお客様指定の納品先とお取引先様事業所を特定するための社内手順を構築しました。これからもBCPの体制強化に取り組んでまいります。

## 2021年度の主な取組み

- お取引先様向け安否確認システムの範囲拡大
- 西神ロジスティクスセンターのBCP検討
- 地図情報を活用したお客様・お取引先様に関する「被災確認事業所抽出手順書」の作成
- BCP対応手順読み合わせによる、部門間のフロー照会(課題対応は2022年度に)
- 新型コロナウイルス発生時行動計画の改定(2022年度も継続)

# ビジネスを包む



高い倫理観を持ち、お取引先様と共に世の中に必要とされ続ける企業づくりを進めます。

## 【実績表】

2022年度		2021年度	
目標	目標	実績	評価
CSR教育の継続的実施ができています	SDGsインナーブランディングのための社内教育における理解度を2020年度比30%上回る	2020年度時点で89%の理解度が得られ、2021年度の目標を89%以上の理解度と変更した 2021年度実績:90%	○
調達基本方針に沿った購買活動ができています	お取引先様に対し調達基本方針に関するアンケートを実施し、課題抽出する ※アンケートはCSRアンケートと同時に行う	計画通りアンケートを実施し、集計・分析した結果をもとに課題を抽出した	○
法規制遵守評価方法の全社統一化ができています	当社として遵守すべき法規制の抽出及び遵守評価手順を作成し、全社展開できる状態になっている	当社として遵守すべき法規制の抽出は完了したが、遵守評価手順は一部未作成	×

## ▶SDGsインナーブランディングの実施

当社では全ての従業員を対象に、「サステナビリティ勉強会」を始めとしたSDGsのインナーブランディングに取り組んでいます。2021年度からは従業員参加型の企画にもチャレンジしており、一人ひとりがSDGsに貢献できる企業を目指して取り組んでいます。

### サステナビリティ勉強会

動画形式で開催。

「受講後アンケート」では、「SDGsとは何かを知っており、カンパニーが事業を通じた貢献に取り組んでいることを理解している」社員が90%に達していることを確認しました。



▲ サステナビリティ勉強会資料

### SDGs宣言キャンペーン※1

当社で取り組むべきアイデアを募集。

全社より計87件の応募があり、「社内・従業員が取り組んだ様々なSDGsに寄与する行動をポイント化し、そのポイントに応じて環境団体に寄付する」というアイデアが選出されました。2022年度は、上記アイデアを全社展開してまいります。



▲ SDGs宣言キャンペーン応募用紙

### カードゲーム「2030 SDGs※2」を活用した研修

取締役と本社勤務の部長職を対象に、第1回を実施しました。

2022年度から2023年度は、全ての従業員を対象にこの研修を実施します。



▲ 導入説明の様子



▲ ふり回りの様子

## 調達基本方針(2016年10月21日制定)

私達はカナエCSR方針、CSR指針に基づき、以下のとおり調達活動を展開していきます。

### 1. コンプライアンス

#### (労働慣行)

各種関連法令を遵守し、社会的な要請に応えるため、人権・労働安全衛生に十分配慮した活動を行います。

#### (機密保持)

業務上知り得た情報は、情報提供いただいた方の承諾を取らずに第三者へ漏らすことはありません。

### 2. 公正な取引

#### (公平・公正)

新た取引を希望される取引先に対しては、品質・納期・価格・技術・経営の安定性・企業の社会的責任(CSR)の取組み等を総合的かつ公正に評価し、その国籍・地域・企業規模等にとらわれることなく真摯な姿勢で対応します。

また、既存取引先に対しても同様の評価を行います。

#### (購買倫理)

取引先と私的な利害関係は持ちません。また、発注者の地位を利用した不当な圧力を用いることはありません。

### 3. 取引先との共存共栄

取引先をパートナーと位置付け、適正な品質・納期・価格を確保し安定的な取引を実現する事を通じ、WIN・WINの関係を目指します。

### 4. 環境

環境に配慮した購買活動を行います。

### 5. サプライチェーン管理

全ての購買先に対し、本方針に基づく取組みを啓発していきます。

## ▶お取引先様へのCSRアンケートについて

当社では、お取引先様におけるCSR活動の動向を知るため、2019年度より隔年でCSRアンケートを実施しています。2回目となる2021年度は、前回よりもアンケート対象とするお取引先様の範囲を広げて調査しました。

アンケートでは、対象先におけるCSRの取組み状況とともに、当社調達活動が「調達基本方針」を遵守しているかについても確認し、いただいた回答より課題抽出を行っています。また、アンケート回答をいただいたお取引先様には当社よりフィードバック資料をお送りしています。2022年度は、アンケート結果より抽出した課題対応に取組んでまいります。



▲ 前回結果と比較可能なフィードバック資料(サンプル)

#### ※1 SDGs宣言キャンペーンとは

SDGsに関連する社会課題について、企業活動または日常生活の中でできる貢献案(取組み目標)を募集し、最も「全社で取組むべき」と考えられるアイデアを選出・ブラッシュアップして、全社で取組みを展開していこうというものです。

#### ※2 「2030 SDGs」(ニエゼロサンゼロ エスディー・ジーズ)とは

一般社団法人イマコラボと株式会社プロジェクトデザインが共同開発したカードゲームです。SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを、ゲームを通じて体験することができます。

# 地球を包む

人や地球環境にやさしい企業活動を行い、「包」を提供する企業として、外部との協業により持続可能な社会に貢献できる製品、サービスを創造します。



## 【実績表】

2022年度		2021年度	
目標	目標	実績	評価
サプライチェーン全体で環境負荷低減に関する取組みを推進する	サステナブル商材を営業部門に提案する:12件	提案件数:27件	○
環境負荷低減商材の開発	環境負荷低減商材の新規採用件数:12件	新規採用件数:17件	○
環境負荷低減商材情報の入手提案	環境負荷低減商材情報の入手提案件数:84件(2020年度比10%増)	入手提案件数:81件	×
環境負荷低減商材の拡販	環境負荷低減製品の販売実績のうち新規受注の件数が40件以上	新規受注件数:94件	○
温室効果ガスの排出量削減	オフィス部門:2019年度比2%削減(絶対値)	2019年度比26%増加 ※ただし、包装技術開発センター・西神ロジスティクスセンター新設に伴う増加 ※既存施設実績:2019年度比13%減	×
	工場:2016年度比6%削減(原単位)	2016年度比6%削減	○
生産ラインの稼働率向上	生産ラインの稼働率の向上、不良率の削減	11件の目標を設定し、7件が達成	×
業務効率化等プラス側面への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化により温室効果ガス・資源・廃棄物・コストの削減になっている</li> <li>●5S活動が各部門で実施できている</li> </ul>	21部門中15部門達成	×
生物多様性に配慮した活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●30名以上の事業所において、生物多様性活動が継続できている</li> <li>●30名以下の事業所においては、ボランティア休暇(環境活動・災害復旧等)の取得を推進する</li> </ul>	コロナ禍のため、活動を自粛中	—
サーキュラーエコノミー化を推進する	サーキュラーエコノミーへの具体的な取組みを行っている	サステナビリティ推進室にて検討を進めるも、具体的な取組みに至らず	×
法規制及び当社の同意したその他の要求事項の順守	環境関連法規制が順守できている	定期的な順守評価を行い、適切に運用できていることを確認している	○
全社員の環境意識の向上	CSRに関わる教育を実施する	全社向け勉強会(動画)を実施し、全ての従業員の受講が完了している	○
	環境問題の記事を社内報で掲載する	2021年度中に発行された社内報(計6回)での掲載を実施	○
外部コミュニケーション強化	CSR報告書を発行し、ステークホルダーに説明できている	お得意先様、お取引先様を中心に、310件の説明を実施	○
マネジメントシステムの確実性の強化	部門長に対する定期的な教育ができている(環境マニュアルの理解)	部門長会議にて、環境管理マニュアルの説明を実施	○
サステナビリティ商材の拡販	サステナビリティ商材の定義付け	環境面、環境以外側面でサステナビリティ商材を定義した	○
	販売金額の目標設定	2030年度における販売金額の目標を設定した	○

## 環境マネジメントシステムの推進

### ▶温室効果ガス排出量削減への取組み

温室効果ガス排出量削減は世界共通の課題となっており、当社も各事業所で取組みを進めています。

愛媛第一工場では使用する電力をCO<sub>2</sub>排出量ゼロプランに切替えました。その他の工場においても、設備の更新や業務効率化等で省エネを図る取組みを進めた結果、工場部門のCO<sub>2</sub>排出量(原単位)は目標とした2016年度比6%削減を達成することができました。

一方で、2021年度はコロナ対応のための時差出勤による事業所稼働時間の延長や、工場においては24時間全館空調の稼働、加えて新しい工場棟の建設等の影響により、エネルギー使用量が増加し、2020年度と比較してCO<sub>2</sub>排出量が増加しました。

#### 全事業所CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、Scope2)

	2019年度	2020年度	2021年度
*1)Scope1	818t	769t	803t
*2)Scope2	3,239t	2,975t	3,060t
合計	4,057t	3,744t	3,863t

\*1)Scope1…事業活動による直接排出

\*2)Scope2…事業活動による間接排出

※2021年度よりScope1、Scope2に分けて算出しています。

### ▶廃棄物削減への取組み

当社では、工場での設備トラブル等に起因した使用資材の無駄をなくすことによる廃棄物の削減や、リサイクル率の改善に取組んでいます。2021年度のリサイクル率は、2020年度より向上し、99%と

なりました。リサイクルできない有害廃棄物については、法令に基づき適正に処理しています。今後も設備稼働率や原材料収率の向上等の改善活動を通じた廃棄物削減に取組みます。

#### 2021年度産業廃棄物排出量

	神戸工場	栃木工場	愛媛第一工場	西神ロジスティクスセンター	合計
総排出量	114.3 t	103.9 t	9.2 t	6.8 t	234.2 t
非有害廃棄物	113.8 t	103.6 t	9.0 t	6.8 t	233.2 t
有害廃棄物	0.5 t	0.3 t	0.2 t	—	1.0 t
リサイクル量	112.4 t	103.5 t	8.5 t	6.8 t	231.2 t
リサイクル率	98%	100%	92%	100%	99%

### ▶生物多様性への取組み

当社では2014年度より生物多様性への取組みを継続しています。当初は本社、神戸工場、包装技術開発センター、流通センター(現西神ロジスティクスセンター)のみの活動でしたが、2018年度には東京支店、栃木工場にも活動を広げ、2020年度には新たに愛媛第一

工場、名古屋営業所、富山営業所における活動内容を決定しました。現在はコロナ禍のため活動を見合わせておりますが、終息後全ての事業所で活動を再開する予定です。

#### 事業所名

#### 主催・連携先

#### 活動内容

本社・神戸工場・包装技術開発センター・西神ロジスティクスセンター	大阪府、岸和田市、特定非営利活動法人 神於山保全くらぶ	良好な里地里山環境を目指した竹林の間伐、下草の伐採等
東京支店	谷津干潟自然観察センター	谷津干潟保全に向けた清掃活動、干潟に関する環境教育受講等
栃木工場	もおか環境パートナーシップ会議、真岡市役所	ホテルの住むような自然環境への再生を目指した落ち葉回収、間伐等
名古屋営業所	社会福祉法人名古屋北区社会福祉協議会、ロマン黒川の会	営業所近くの黒川の清掃活動
富山営業所	公益財団法人富山県民福祉公園	五福公園等の清掃・花の植え替え等
愛媛第一工場	四国中央市ボランティア市民活動センター	動物が住めるような山への再生を目指したお遍路道の清掃・整備等

## 地域社会への貢献

### ▶東日本大震災遺児支援

「みちのく未来基金」は、東日本大震災により親を亡くした子どもたちの支援として、サポートの少ない「大学及び専門教育への進学」に焦点を当てた基金です。当社は基金発足時より参画し、11年目に入

りました。この基金により、2021年4月時点で計974名の方が進学されました。今後も「みちのく未来基金」を通じて震災遺児の「学びたい」を支援してまいります。

## 編集方針

当社発行の「CSR REPORT 2021」は2021年度の主なCSR活動について、取りまとめたものです。

当社の企業理念・社訓をはじめ、CSRに対する姿勢、具体的な取組みなどを掲載しています。また、巻末にはアンケートを挿入しています。今後の当社のCSR活動あるいはCSR報告書の改善につながる内容となっておりますので、皆様の忌憚ないお声を是非お聞かせください。ご協力をお願いいたします。

## 報告対象

株式会社カナエ

## 報告対象期間

事業年度2021年度(第66期)  
2020年10月21日～2021年10月20日  
※一部2022年度の内容も含まれます。

## 発行

2022年2月



## お問い合わせ先

株式会社カナエ 経営企画室

〒540-6023 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー23階  
TEL 06-6945-1140 FAX 06-6945-1211  
<https://www.kk-kanae.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

